

栄八通信

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第73号



武雄市議会議員

宮本栄八

TEL・FAX 23-0750 携帯 090-5083-0793

H30年147(10)月発行

繰り出し 17年ぶり

3,000万円

競輪場改築効果 市民サービスへの活用を期待!

今議会、競輪特別会計から、8000万円、一般会計に繰入れられた。その意味合いは、5000万円は、借入れの前倒し返済で3000万円は、市民の為にいわゆる繰入れでH13年から17年ぶり。昔は、競輪の繰り入れで給食の自校方式などが他市に比べてできるなど言われていたと覚えている。

そこで、その3000万円は、どう活用するのだが、地域振興基金に積立られて、まだ市民の為に使われていない。

そこで、その基金のこれまでの使われ方は、以前、地域まちづくり交付金と言って、各町のまちづくり協議会への補助金に当ててた。近年は残金が少なく利用はない。

そこで、この基金積立後はどう使うかは、これから計画との答え。一方、競輪の経営状況は、改築中のH27後半・H28年度前半をさけて記念レースを開催し、H26年度並みの110億円程度を確保した。

昨年H29年度は、御祝的に開催させてもらったGⅡ共同通信社杯や、夜間照明整備の効果で、夕方のナイターや、深夜の無観客ミッドナイトの売上げもあり、約50億円も多い、161億円の売上げに。これまで、昔は売れたと言っていた、H17年のふるさとタービー132億円を超えている。ただネット販売が多く、利益率は大幅に下がっている。その率の改定なども今後必要と思われる。

競輪・JPを一度見て下さい!

佐賀支部

S級選手・ガールズ選手

S級1班 山田 英明 (武雄) 荒井 崇博 (諫早)

S級2班 山田 庸平 (武雄) 三槻 智清 (武雄) 坂本 晃輝 (武雄) 山口 貴弘 (伊万里) 佐々木 翔一 (武雄) 成松 春樹 (武雄)

ガールズ 山口 優衣 (嬉野) 吉原 菜那 (白石)

S級8、A級25、L級2、全35選手

また、競輪の持つ基金の状況はH29年度末財政調整基金5.7億円と施設整備基金6億円がある。

一方、借入金金は、改築費用の約20億円の内、一般会計から5億円、水道会計から4億円、県から約1億円の合計、10億円の借り入れ。県と水道は、合計6000万円づつすでに返済を始めている。

一般会計は、H31年度より5千万円づつ10年間返済する計画だったが、今回、1年前倒しして返済。改めて、競輪場を改築して良かったと思う。ちなみに、今H30年度は、150億円の予算がしてあり、ある程度の利益は見込める。

一方、熊本など、他場の改築も進んで行くと、ナイター等の売上が分散して行くので、今後も長期的視点での経営努力が求められる。

◎一方、武雄競輪場を本拠地とする佐賀支部は、S級1班山田英明・荒井崇博選手を中心に、ガールズも2選手誕生し、競輪学校を1番で卒業した橋本(多久市)もデビューしている。ネットの「競輪・JP」のトップ資料室を見て下さい。

タバコ税改正 10月より 5000円時代に

国の税制改正に伴ない、市条例も改正した。特に、タバコ税が値上げされる。1本当り、3年で3円で、1箱20本では、60円の値上げ。各社、製品への転嫁は微妙に異なるが、セブンスターが、460円から500円、メビウスが440円から480円、外国製マルボーロが480円から520円に。(3年分を一度に上げた感じ)

一方、今はやりの、煙が出ない加熱式タバコ、アイコス・グロウに、液体カートリッジのプルームテックも500円程度に。

ネット情報では、年間15000円程度、個人の支出が増加する。以前は、本部のある所での納税で、オサダのあった時は、多額のタバコ税が市に入っていた。今は、市内コンビニで買えば、市に入る。

※私自身は税収増より、禁煙を勧めたい!

ふるさと納税6億円 武雄市の状況

H26年度は100万円台、H27年度から2億円台になったのは、前市長の方針を変えて、返礼品を充実したため。H29年度が6億円台になったのは、業務を民間業者(ジッパ) (小城市) に委託した為と思う。

ただ、今年は自然災害も多く被災自治体への寄付にあら程度動くと思う。

一方、流れとしては、武雄市への寄付額から、50%の返礼品代と、10%の委託料を支払うので、市には40%が入ることになる。

また、国が返礼品の見なおしで30%への下げや地元産品への限定を打ち出しているが、武雄市は、状況を見ながらセーブする型。

一方、武雄市から出る寄付額は1600万円と少ない。国の交付税もあり、市民が武雄市に寄付するのが一番良い。

年度	金額
H25年	11万円
H26年	115万円
H27年	2億1333万円
H28年	2億3662万円
H29年	6億5941万円
(H30年現在)	2億4367万円

県内市一の下水道料金 高い根拠が不明?

20立方メートルで、4104円と、県内市一高い下水道料金。これまで維持管理費は、「料金で当てる」との理ある理由で納得もしていった。

ただ、H29年度の決算を見れば、使用料収入が、2億5736円あり、維持管理の業者への委託料は、1億0176万円倍の収入がある。

さらに、光熱費や汚泥処分費など関係費用合計しても、2億2116万円、使用料の方が、上回っている状況。

そこで、以前の理由から言えば値下げすべきと提案すると。今度は、建設の起債の利子もあると、今までの議論もしていない理由を急に出して来て、あくまでも市民負担を減らさない為の理由付けにしか、受け取れなかった。

そこで、今議会、改めて、下水道料金の算定の根拠を質問した。しかし、具体的な話はなく、「意味不明」な答えだった。私としては、今年度公共下水道

市	料金
鳥栖市	2,340円
鹿島市	2,592円
唐津市	2,700円
嬉野市	2,910円
小城市	2,970円
佐賀市	3,110円
多久市	3,240円
伊万里市	3,420円
武雄市	4,104円

処理場の2号機が稼働したし、起債利子も料金に反映するなら具体的な算定法を示してもらいたい。ただ、他市では、そんな話も聞かないし、普通に考えて他市並の料金レベルで事業が推進していかないのは、行政の努力不足と思う。

武雄町は、組織作りの段階。これらを、正式には、「第2層協議体」と言っている。国がこの事業を進めるのは、高齢者の急増に対し、自助↓共助↓公助の2番目の共助である住民相互の助け合いを、支援し、国の費用負担を削減しようと考えているのではないかとと思われる。

一方で、市は、「第1層協議体」を組織し、年800万円を上限に費用を受けるが、今年度は、イベントを開催すると、市民への啓発活動を実施するとの事。今後は、各町の第2層から地域でできない課題が上って来た問題に対応するとの話。しかし私の考えでは、高齢者の課題は、市内そう大差は無いと思うので、第1層がリーダーシップを発揮し第2の早期事業開始を願う。

地域包括ケアシステムとはなんですか?

簡単に言うと、高齢者を地域で支えて行く組織を、各町単位で設置して行くもの。

武雄市では、H29年に朝日町で設立され、区長さんを中心に、研修されている模様。H30年は、西川登町も設立され、高齢者の課題(ニーズ)調査がされている。

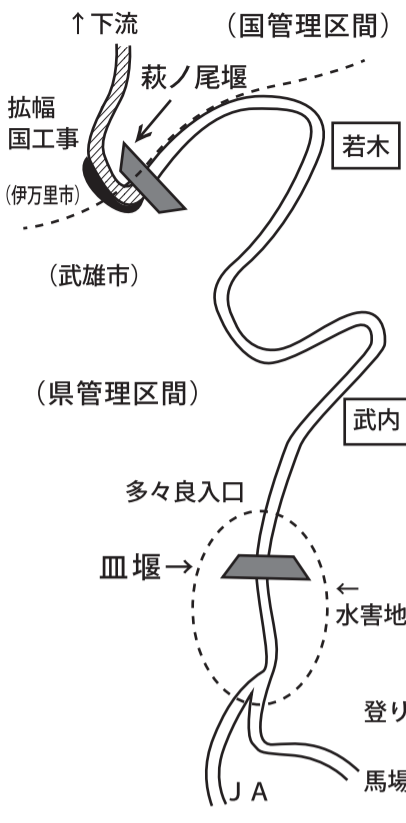
考えで、事務局費や研修・講師料などは、介護保険事務所から、1組織400万円を上限に、事業計画に基づいて、支払われる。しかし、実際助ける、住民は無償ボランティアが原則なので、なかなか難しい面がある。

やほり、私は、市としての、一定の補助が必要ではないかとも思う。

松浦川の水害対策

皿せき(武内町)の改修実現へ 完成は3年後

武雄市の水害の2大要因は、南の有明海にそそぐ六角川。そして、北の唐津湾にそそぐ松浦川。ここでは、松浦川の状態について説明したい。源流は、山内町の黒髪山系から、武雄町・若木町へ、ここまでは県の管理区域になっている。武雄市と伊万里市との境付近から下流は国の管理区域になっている。河川の整備は下流から原則で、数年前に、国が萩ノ尾せきの下流の川幅の改修



新幹線高架下の活用計画の動向

今議会、議員から新幹線に伴う武雄温泉駅整備の質問が多かった。スペース的には、新幹線の高架下の利用になると思うが、市の答えは、各種団体で(市長が会長の)新幹線活用プロジェクトで検討中との事で、これまで何回か同じ答えを聞いた気がする。そこで「活プロ」の状況を聞くと、駅周辺について、9月・10月に会合を開き、まずは、自由に考えを提示し、しぼり込んで行くとの話で、見守るしかない。

ところで、以前の佐世保高架の時は、JRが、固定資産税の相当分を用地を無償で使用させている。具体的には①駅の観光案内所やギャラリー部分、②川端飲食店街前のいこいのスペース、③小楠の消防倉庫、④駐輪場に活用されている。

一方、新幹線の高架下は、運輸機構の所有で、無償利用は困難。そこで、JRに坪いくらで借りられるか?との問いには、借り手の利用内容や面積が、明確に示されてからしか交渉しないとの姿勢。まずは、武雄市が、利用プランを固めることが第1歩。そして賃料を決めてもらい採算性を判断するしかない。そうなれば、地元の間業者が出店するのは、けっこう難しい気がする。

私の考えは、まずは、先行事例を作る為に、市役所北側の高架下を職員駐車場としての賃貸をJRと交渉して、地代の相場や契約条件などが分れば、民間出店も可能だと思う。この高架下利用、前市長の時も度々出ていたが、具体化せず、今回少しでも実現を願う。

その1 国道34号線の改良 下西山(堂島)交差点

現在、コーンをたくさん立てて工事が続けられている。新幹線の高架工事も隣接してあっている。なおさら工事が長時間あっている印象。逆に新幹線工事の玉つきで、交差点改良に着手されたのかもしれない。

この工事は、上西山の国道維持出張所で管理していて、来年の3月に終了するとの事。

これまでのクローバ型の左折専用レーンは、廃止されて、通常の交差点になる。また、市民にとって良かったのは、34号線の朝長タバコ店前で、1車線になり、武雄高校前から、利用されなかった左レーンが有効活用できる可能性も。

◎また、大雨で交通止めになっていたので、高める一方、排水を武雄川まで引いて、交差点がつからない様になる。

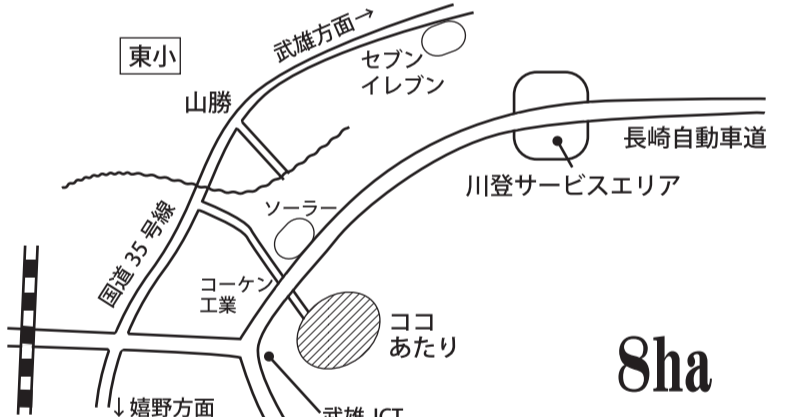
その2 国道34号線の改良 あどりせ鉄道橋

これも、国道武雄維持出張所(二口所長)で行われ完成はH32年頃。旧武雄市・旧山内町の時代に陳情してからの、長年の懸案。良く勘違いされるのが、西谷峠を上った所で、道が拡げられているが、ここから、レンガの鉄道橋まで工事があると思われる。整備と、バス停の整備の為に、また、トンネル付近に、高段に仮設道路ができています。これは、JRの鉄道保持の道路で、本工事のルートではありません。

本ルートは、現在のレンガの鉄道橋の北側を通る計画。私が10年ぐらい前に見た予想パース図では、2本の丸トンネルだったが、事業の設計では、カルバートボックスといって、コンクリートの箱形の構造で鉄道の下を整備しカーブをゆるくする。

東川登工業団地 H32年度完成へ

北方インター工業団地と同じく県との共同事業だが、今議会、用地購入費が、1億3000万円付いて、本格的に動き出したと思う。【概要】場所は、東川登町袴野で、国道34号線の山勝さんの1つ袴野方面の3差路を左に高速道をくぐった辺り。(後すべて予定)完成は、H32年度中、面積は、8haだが、山林造成なので、施工は18haになる。現在は基本計画が終了し、実施設計に入っている。規模を分りやすく言うと、北方工業団地が、18haなので半程度程度の広さ。また、団地内道路をはさんで、2分割の約4haの2面になる。また、スマートインターについても検討の方向。一方、北方工業団地の立地状況は、大同メタル12ha。コスモス流通3ha、ハードルメタル3haで完売している。



新人議員の一般質問に 気づかされる 初心

私自身、初心を忘れず、市民感覚を常に心がけて来たつもり。ただ、今議会、新人3人の一般質問で気づかされる所があった。

【臓器提供カード】
坂口議員の質問では、自身が両目の病気やケガで、失明したのを、角膜の提供者のおかげで視力を取りもどした事から、市でも臓器提供カードの記入の推進を提言。市は、10月が推進月間なので窓口でパンフレット配布をする答え。

聞く所によると、新しい運転免許証や特に保険証の裏には具体的に記入する所があるので、まずは記入することが大切。私自身も年を取って来て、そこまでしなくても若い人がいるからと思っていたが、これを機会に家族と話し合って記入して見る事にした。

【武雄市の祭り】

吉原議員の質問では、秋田の竿燈in武雄は、8万人の観客でにぎわった。ただ、本来は武雄市民の主体のお祭りで盛り上げる方向性も必要で、嬉野市の花火大会では4万人の人数があり、新元号を契機に取り組んでは、との主旨の質問。

市の答えは、「実施については適宜判断して行きたい。」と良く分からない返答。ただ私も、今年、唐津の花火大会を見に行き、となりに武雄の親子づれがいて、「武雄も花火くらいいせんといかんですわね。」とも言われていた。

一方、前市長時代、武雄温泉春祭が、市のまつりから、武雄町のまつりに変更され、また、近年、北方のトロッコレースや黒髪口マシマシも終了している。「武雄市お祭り振興会はあるが、旧市からの体制で、新武雄市に対応していない。そこをちゃんと整備し、まず武雄市のお祭りどうするから話

家屋全棟調査

この全棟調査、簡単に言えば、固定資産税の課税もれ物件を調査して、市税の公平性をはかるもの。新武雄市になって初の取り組み。

私自身は、この件にもっと提案や意見を言うべきだったと反省している。それは、H30年度に、3900万円の予算が付いていて民間業者に委託するとの事で、料金相場に知識もなく、その程度なのかとの認識で特に問題に思わなかった。しかし、市議選後にこれが、30・31・32の3年間の事業で、総額、1億7100万円の事業だと分かるとびつくり。しかもプロポーザル(提案型)入札に参加予定の3社の内2社は参加せず1社のみで、料金や中身を競争させて良い方を採用する型にならず、議員として残念と反省。

【武雄市総合計画】

江口議員の質問では、武雄市総合計画(マスタープラン)の策定をすべきではとの質問。

市の答えは、「改定時期を見て考える」主旨の答えだが、もう改定時期は過ぎていて意味が不明。ただ、私も、合併時に総合計画を求めていたが、前市長は、計画にしばられるとの主旨で、子ども達の絵をカレンダーにしたものと、下水道整備等を何%に上げるとか手順の分からない物しか作成されなかった。それがH19・H28年まで、その後は、作成されていない。やはり、計画行政は必要で、旧武雄市の時も、3年ごとに見直していた、決めたら変更できない事ではなく、市民と話し合い今後の方針は明示すべき。